



取扱説明書

ポータブルマルチミキサー AT-PMX5P
audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

■ 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。
-----------	---	-----------	---

■ 本体について

警告
- 分解や改造はしないでください。 - 強い衝撃を与えないでください。 - 濡れた手で触れないでください。 - 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しないでください。すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。

注意
- 安定する場所に設置してください。使用するケーブルの重さや引き回し方によっては本体が不安定になる場合があります。 - ケーブルをラックに固定するなどの工夫をしてください。 - 足に引っかかりやすい場所にケーブルを引き回さないでください。 - 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。 - 水をかけないでください。 - 火気に近づけないでください。 - 電源をON / OFF するときは、必ず接続機器の音量を下げてください。接続機器が故障するおそれがあります。 - 長時間使用しない時には、ACアダプターをコンセントから抜いてください。 - 同梱のポリ袋は幼児の手の届かない所に置いてください。また火のそばに置かないでください。

■ ACアダプターについて

警告
- 表示している電源電圧以外で使用しないでください。 - 本製品以外には使用しないでください。 - 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しないでください。すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。 - コードは伸ばして使用してください。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしないでください。 - コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込んでください。 - コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。 - コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしないでください。 - 分解や改造はしないでください。 - 強い衝撃を与えないでください。 - 濡れた手で触れないでください。 - 布などで覆わないでください。 - プラグにしまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取ってください。 - ペンジシ、シンナー、接点復活剤などは使用しないでください。

注意
- 長時間使用しないときは、コンセントから抜いてください。 - 足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さないでください。 - 通電中のACアダプターに長時間触れないでください。

■ 電池について

指定電池以外使用しないでください。
指定電池：単3形乾電池×4本

警告
- 幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息の恐れがあります。 - 火の近く、炎天下の車内、硬貨やガリなど金属製の物と一緒に保管場所に置かないでください。 - 分解や改造、ハンダ付けはしないでください。 - 極性通りに入れてください。 - 外装チューブがはがれた電池は使用しないでください。 - 乾電池は充電しないでください。 - 火の中に投入しないでください。 - メーカー、種類の違う電池や、新品と使いかけの電池を一緒に使用しないでください。 - 液漏れした電池はすぐに取り出してください。液は素手で触らないでください。 - 幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、すぐに医師の診察を受けてください。 - 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合はすぐに医師の診察を受けてください。 - 目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、すぐに医師の診察を受けてください。 - 液漏れしたらサービスセンターまでお問い合わせください。液を拭き取っても基板に液が残って故障の原因になる場合があります。

注意
- 指定の電池以外使用しないでください。 - 長時間使用しない場合は電池を取り出してください。 - 使用済みの電池は地方自治体の指定する方法で処分してください。

■ 使用上の注意

- ご使用の際は、接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続するケーブルのプラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 本製品を使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ケーブルの抜き差しは、本製品の電源を切ってから行ってください。
- 本製品のCH1～CH4 INPUT端子にマイクロホンを接続する場合、ダイナミックマイクロホンまたは電源内蔵のマイクロホンを使用してください。
- 本製品のSTEREO MIC INPUT端子にマイクロホン接続する場合、プラグインパワー対応のマイクロホンを使用してください。
- 本製品のSTEREO MIC INPUT端子に、ポータブルプレーヤーやプラグインパワー非対応のマイクロホンは接続しないでください。接続機器の故障の原因になる場合があります。
- 不要なノイズを避けるため、使用しないCH1～CH4のTRIMはLINEの位置に、レベルフェーダーは0の位置に、LINE LEVEL調整つまみはMINの位置にしてください。

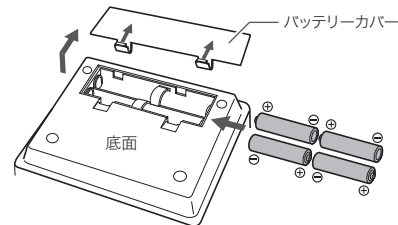
■ お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- ACアダプターを抜いたあと、乾いた布で本体の汚れを拭いてください。
- ACアダプターのコードが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- プラグが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。

■ 電池の入れかた

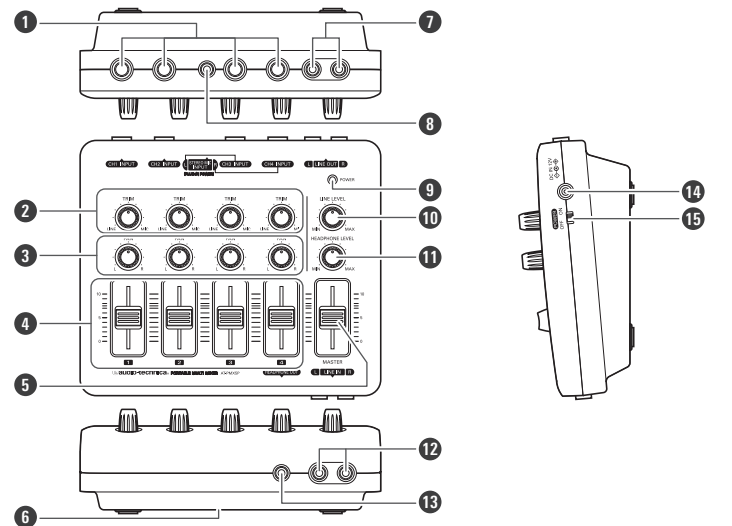
- 電源をOFFにします。
- バッテリーカバーの2つのツメを矢印の方向に引いたあと、持ち上げて開きます。



- 単3形乾電池×4本を極性に合わせて入れます。
- バッテリーカバーを閉じます。

■ 各部の名称と機能

ご使用になる前に、図を参考に本製品の各部をご確認ください。



- CH1～4 INPUT 端子**
マイクロホンなどを接続するφ6.3mmモノラル標準ジャックです。
 - 接続機器 / 接続ケーブル (別売) によっては、付属のピンプラグ→標準変換プラグをご使用ください。
 - ファントム電源には対応していません。
- TRIM**
マイクロホンなどの微小音声を入力する場合はMIC側へ、ピアノ音声などのラインレベルの音声を入力する場合はLINE側へ回します。音が歪まない位置に合わせます。
- PAN**
入力音声の左右 (L・R) バランスを調整します。
- CH1～4レベルフェーダー**
CH1～4 INPUT端子に入力された音量を調整します。フェーダーを0側に下げると音量は小さくなり、10側に上げると大きくなります。
- MASTERレベルフェーダー**
ミキシングされた全体の音量を調整します。
- バッテリーホルダー (底面)**
電池を使用して本製品を使用するとき、単3形乾電池を4本入れます。
- LINE OUT 端子**
ミキシングされた音声が入力出力されます。アンプやアクティブスピーカー、またはパソコンなどのライン入力へピンプラグケーブルで接続します。
- STEREO MIC INPUT 端子**
プラグインパワー対応ステレオマイクロホン接続します。形状はφ3.5mmステレオミニジャックです。
 - STEREO MIC INPUT端子は、CH3/CH4入力と兼用しており、どちらか一方が使用できます。両方とも接続されている場合は、CH3/CH4入力端子が優先となります。
 - ポータブルプレーヤーやプラグインパワー非対応のステレオマイクロホンは接続しないでください。接続機器の故障の原因となる場合があります。
- 電源インジケーター**
電源スイッチをONにすると点灯します。
- LINE LEVEL 調整つまみ**
LINE INに入力されたステレオライン音声の音量を調整します。
- HEADPHONE LEVEL 調整つまみ**
ヘッドホンのモニター音量を調整します。つまみを左に回すと音量は小さくなり、右に回すと大きくなります。
- LINE IN 端子**
ステレオライン音声を入力します。形状はピンジャックです。
- HEADPHONE OUT 端子**
モニター用ヘッドホンのφ3.5mmステレオミニジャックです。ミキシングされた音声をモニターできます。
- DC IN 12V**
付属のACアダプターを接続します。付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- 電源スイッチ**
ONにすると電源が入り、OFFにすると切れます。

■ 接続する前に

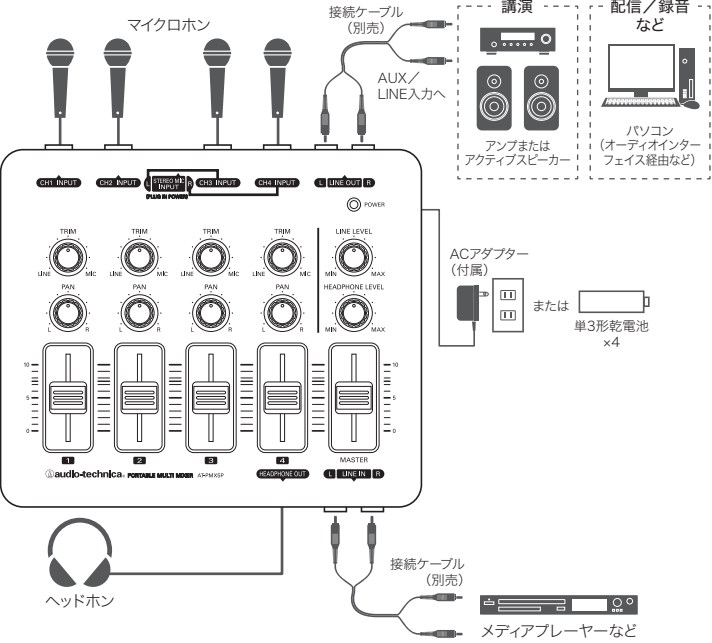
- 接続機器の電源をOFFにしてください。
- 接続の前に本製品と接続機器の音量調整つまみはすべて最小にしてください。
- 接続機器の左 (LEFT) と右 (RIGHT) を間違えないように、端子とプラグを合わせて接続してください。
- 接続機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- 接続ケーブル (別売) は、接続機器の端子をご確認のうえお買い求めください。

■ 接続のしかた

- 接続機器のライン出力またはマイクロホンへ、CH1～CH4 INPUT 端子 (φ6.3mm モノラル標準ジャック) に接続します。
 - プラグインパワー対応ステレオマイクロホンを使用する場合は、STEREO MIC INPUT 端子 (φ3.5mm ステレオミニ) に接続してください。STEREO MIC INPUT 端子を使用する際は、CH3/CH4 INPUT 端子に接続しないでください。STEREO MIC INPUT 端子、CH3/CH4 INPUT 端子すべてに接続した場合、CH3/CH4 INPUT 端子が優先されます。
 - STEREO MIC INPUT 端子にプラグインパワー非対応のマイクロホン、ターンテーブル、パソコンやプレーヤーなどは接続しないでください。接続機器の故障の原因となる場合があります。
- 本製品に AC アダプターを接続し、家庭用コンセント (AC100V) に差し込みます。乾電池をご使用の場合は、乾電池を入れてください。
 - 本製品に AC アダプターを接続すると、乾電池が入っていても自動的に AC アダプターを使用して電源が入ります。
- アンプ、アクティブスピーカー、パソコンなどを LINE OUT 端子 (ピンジャック) に接続します。
- 本製品に AC アダプターを接続し、家庭用コンセント (AC100V) に差し込みます。乾電池をご使用の場合は、乾電池を入れてください。
 - 本製品に AC アダプターを接続すると、乾電池が入っていても自動的に AC アダプターを使用して電源が入ります。

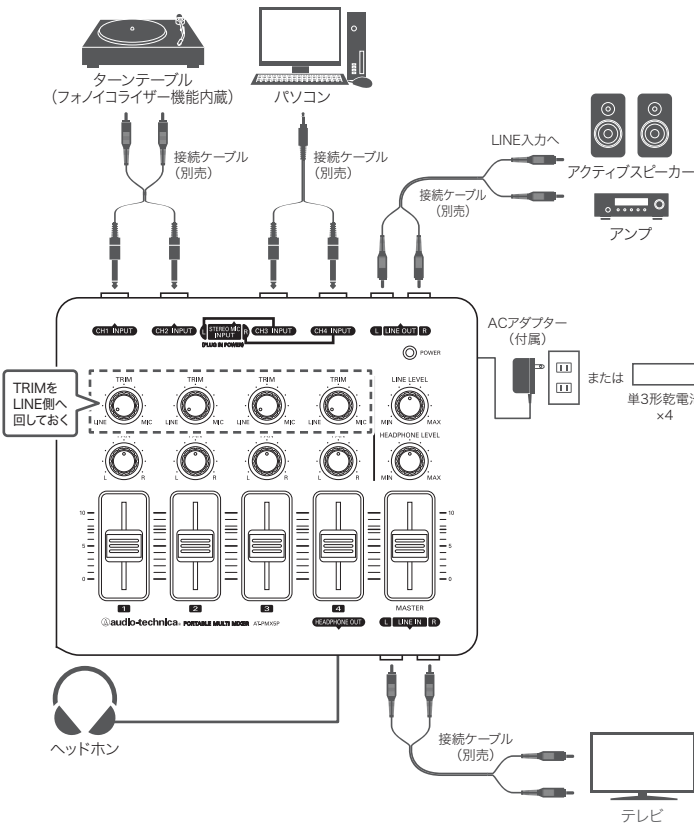
■ 使用例1

複数人の講演時、配信／録音時などのマイクミキシングの場合



■ 使用例2

複数機器の音源を一元管理で音量コントロールする場合

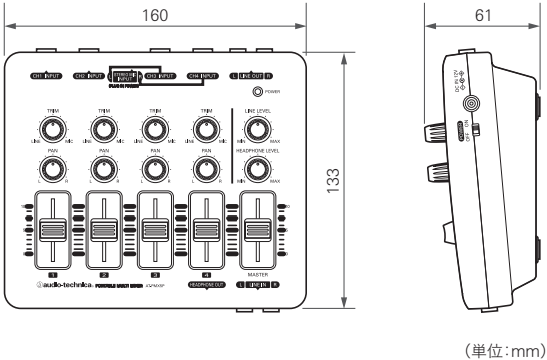


■ 使いかた

- 本製品と接続機器の電源を入れます。
 - 入力端子に接続されている機器の電源を入れます。次に、各チャンネルの TRIM を LINE の位置に、LINE LEVEL 調整つまみ、HEADPHONE LEVEL 調整つまみを MIN の位置に、また CH1～4 レベルフェーダーと MASTER レベルフェーダーを 0 の位置 (一番下の状態) にし、ヘッドホン接続している場合は耳から外して本製品の電源スイッチを入れます。LINE OUT 端子に接続されている機器の電源は最後に入れてください。
- 各チャンネルの TRIM を調整します。
 - 入力側の機器から音声を入力しながら MASTER レベルフェーダーを 7～8 の位置に上げ、次に調整するチャンネルのフェーダーを徐々に 7～8 まで上げていきます。必要であれば出力側の機器を調整して本製品からの出力音声を聴けるようにしておきます。ヘッドホンを使用する場合は HEADPHONE LEVEL 調整つまみを少し右に回しておきます。そのあと、TRIM を徐々に右に回していき、適正なレベルに調整します。音が歪む場合は TRIM を LINE 側に回して下げてください。
- 各チャンネルの PAN を調整します。
 - 各チャンネルの PAN を回して調整してください。L 側に回すと左側から、R 側に回すと右側から音声が聴こえます。
 - STEREO MIC INPUT 端子に入力している場合、入力されたステレオ音声の L 信号が CH3、R 信号が CH4 に振り分けられます。CH3 の PAN を L 側に、CH4 の PAN を R 側に、それぞれ最大に回して使用してください。
- 各チャンネル間のレベルバランスを調整します。
 - 各チャンネルのレベルフェーダーを上げ下げて調整します。

- 不要なノイズを避けるため、使用しないチャンネルの TRIM は LINE の位置に、レベルフェーダーは 0 の位置に、LINE LEVEL 調整つまみは MIN の位置にして使用してください。

■ 外形寸法図



■ テクニカルデータ

定格入力	+10dBV (TRIM=MIN)、-50dBV (TRIM=MAX)
定格出力	-10dBV
周波数特性	20～20,000Hz (TRIM=MIN)、50～20,000Hz (TRIM=MAX)
最大許容入力	+13dBV (TRIM=MIN)
電源	DC12V 300mA (付属の AC アダプター使用、日本国内専用)、または単3形乾電池×4本
消費電流	50mA (ヘッドホン1mW出力時)
電池持続時間	約60時間 (アルカリ乾電池使用時)
入力端子	φ6.3mm 標準ジャック×4、φ3.5mm ステレオミニジャック、ピンジャック×2 (L・R)
出力端子	ピンジャック×2 (L・R)、φ3.5mm ステレオミニジャック
外形寸法	160mm×133mm×48mm (W×D×H) (突起部除く)
質量	約360g (本体のみ)
付属品	AC アダプター (AD-LA1203AG)、ピンプラグ→標準変換プラグ×2

改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先 (電話受付 / 平日9:00～17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品の相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●お客様相談窓口 (製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417 (携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター (修理・部品) ☎ 0120-887-416 (携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ (サポート) <https://www.audio-technica.co.jp/support/>